



# 協 和

足利市立協和中学校長 中村 徳 幸

※右上のQRコードから「協和中学校ホームページ」をご覧ください。



## 学校評価アンケートについて(お知らせ)

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動への温かなご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、お忙しい中、昨年末(12月)実施した「学校評価アンケート」へのご回答ありがとうございました。結果について、まとまりましたので皆様にお知らせいたします。

皆様からのご回答を大事にし、今年度の反省と来年度に向けた計画作成を行っていきたいと考えております。

### 【 学校評価の実施方法 】

- (1) 実施時期：令和2年12月
- (2) 調査対象：協和中生とその保護者、教職員
- (3) 評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う
- (4) 評価方法：各項目について4段階で評価を行う

4：よくあてはまる、3：ややあてはまる、2：あまりあてはまらない、1：あてはまらない

※ 肯定率とは、全体の人数に対する4、3の評価者の割合をパーセントで表したものです。

評 価 内 容 と 努 力 点	対 象	肯定率 (%)
<b>1. 校長室だより・学年だより・各種たより、学校ホームページ・一斉メール配信等による積極的な周知</b> 保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、学校を支えていただいている方々への情報発信、教育活動についての共通理解に努め、育てたい生徒像を目指して、家庭・地域と連携します。保護者の皆様へお願いです。お子さんを通して配付されたプリントの有無を毎日確認していただけるとありがたいです。	生 徒	67.1
	保 護 者	93.7
	教 職 員	100
<b>2. 子どもの努力を認め、励ます等、きめ細かな対応</b> 生徒一人一人の個性や背景を踏まえ、寄り添いながら、生徒の努力による変容を把握し、本人の思いや願いをつなげていきたいと思っております。努力を認め、励ますことで、自己有用感(誰かに認められる、必要とされている)が育まれます。学校でのお子さんの様子をご家庭にお伝えしていきます。	生 徒	80.1
	保 護 者	90.6
	教 職 員	100
<b>3. 不安や悩み等に対する丁寧な相談や対応</b> 子どもたちは、思春期、反抗期にあたり、不安定な時期を迎えていますので、まずは寄り添い、話をじっくり聴くことから不安や悩みを把握し、励ましながら一つ一つの困難を乗り越えさせていきたいと考えています。担任、養護教諭、生徒相談員、スクールカウンセラーが連携しながら対応しています。	生 徒	79.2
	保 護 者	86.7
	教 職 員	96.4
<b>4. 分かりやすい授業の展開</b> 授業のねらいの達成や振り返り等、1時間の授業を大切にしています。わかる授業に努めるとともに、生徒同士の『学び合い』による学習意欲の向上、学力の定着を目指します。『学び合い』による授業を進める中で、子どもたちから「わかった、できた」の声がたくさん聞こえるようになりました。	生 徒	88.1
	保 護 者	67.3
	教 職 員	100
<b>5. 意欲的な学習態度</b> 『学び合い』を取り入れた授業の実践により、授業に向かう意欲や態度に改善が見られつつあります。学び合いによる授業を進めるとともに、本年度末に導入される1人1台のタブレットPCを活用した授業も積極的に取り入れることで、生徒の意欲をさらに向上させたいと思っております。	生 徒	71.6
	保 護 者	77.5
	教 職 員	96.0

<b>6. 家庭学習の充実</b> 本校の大きな課題です。基本的な生活習慣を見直す中で、SNSやゲーム等に費やす時間の割合が家庭で過ごす時間の多くを占め、家庭学習の時間を確保できない、あるいは家庭学習に集中できない原因になっています。さらに、健康被害や友人間トラブルの一番の原因にもなっています。	生徒	46.7
	保護者	47.2
	教職員	63.6
<b>7. あいさつの励行</b> 大きな声で挨拶をすると気持ちが良くなり、お互いに笑顔になることができます。相手からの印象が良くなり、人間関係も良好になります。生徒会では『あいさつ運動』を進め、笑顔溢れる居心地のよい学校を目指しています。	生徒	80.0
	保護者	78.6
	教職員	100
<b>8. 温かい学級集団づくり</b> 「私の学級は友だちを大切にし、何でも言い合える明るい雰囲気がある。」に対し否定的に答えた生徒が14%います。学級の中でそのような生徒に気付くことができ、相手の気持ちになって考え、行動できる仲間がいる温かい雰囲気の学級づくりに努めます。	生徒	86.0
	保護者	75.2
	教職員	95.5
<b>9. 学校や社会のルール・マナーの遵守</b> ルールやマナーを守る前提として、相手に対する思いやりが必要です。本校では、『A・S・N』（愛される先輩になろう！）を合言葉に、学校行事、生徒会活動、部活動等の異年齢集団による活動を積極的に行い、相手を「思いやる心」を育てようと努力しています。	生徒	93.1
	保護者	93.6
	教職員	96.6
<b>10. 時と場に応じた適切な言葉遣い</b> 言葉は、自分の気持ちや考え、感情を相手に伝え、人との関わりを深めることのできるコミュニケーションの基本です。大人になるということは、人と人との付き合いがきちんとできることであり、そのとき大切になるのが言葉遣いであるということをしっかり指導していきたいと思えます。	生徒	87.0
	保護者	76.3
	教職員	86.2
<b>11. 学校・学年行事への積極的な参加</b> 学校・学年行事の取り組みは、仲間が一つになって作りあげ、望ましい人間関係をつくるコミュニケーションの場となることに意義があります。行事をとおして、協調性や帰属意識、充実感、達成感などが得られるよう、生徒が主体的に行動する場面を設け、支援していきたいと思えます。	生徒	87.6
	保護者	90.6
	教職員	85.7
<b>12. 健康・安全を心がけた生活</b> 健康面では、「早寝・早起き・朝ご飯」など、生活リズムの確立が大切です。今年度はさらに、新型コロナウイルス感染症対策としての「新しい生活様式」も重要になっています。安全面では、交通ルールの遵守が大きな課題です。ご家庭でも、ご指導をよろしくお願いいたします。	生徒	83.5
	保護者	78.2
	教職員	100
<b>13. 清掃・美化活動による環境づくり</b> 「環境が人を育てる」といいます。本校では、『N・K・G』（日本一きれいな学校にしよう！）を合言葉に、そうじの時間を大切にするとともに、校舎内外の修繕や学級花壇づくりに励み、生徒に「愛校心」を育くもうと努力しています。	生徒	86.4
	保護者	91.6
	教職員	100
<b>14. 部活動や校外活動への積極的な参加</b> 部活動は体力・能力の向上や忍耐力を養い、社会のルールを学ぶとともに、豊かな人間関係を育みます。先輩への憧れや後輩への思いやりが生まれる「ふれあい」を大切にしています。また、校外活動にボランティアとして積極的に参加している生徒が多くみられ、その活動を支援します。	生徒	86.0
	保護者	85.9
	教職員	90.9
<b>15. 楽しく・居心地の良い学校生活</b> 約14%の生徒が楽しくないと感じています。生徒に寄り添い、じっくり話を聴くことで、一人一人の生徒にとって、居場所、活躍の場があり、安心して生活できる学校となるように努力します。『KYOWA+』みんなで心を合わせ「プラス思考」で前向きにがんばっていこうと思えます。	生徒	85.7
	保護者	88.6
	教職員	90.0

## 延期のお知らせ

栃木県に『**緊急事態宣言**』が発令されています。それに伴い、2学年スキー・スノーボード宿泊学習は、3/17～19（水～金）に延期します。また、4月入学予定の新1年生を対象にした進学説明会は、2/25（木）に保護者のみの参加で実施します。